

# 第3回サンふじコンクール開催

## りんご・もも部会新聞

発行  
りんご・もも部会  
生産指導部  
問い合わせ先  
営農センター  
Tel 23-3933



サンふじの収穫最盛期に入った11月21日に毎年恒例のJA中野市りんご・もも部会主催のサンふじコンクールが信州いきいき館特設会場で開催されました。

このコンクールは、中野市統一での開催になって3回目を数えます。昨年を5点上回る84点の出品数がありました。20日午後に出品物の搬入を行い、同日夕方、重量・糖度の予備審査を行いました。

コンクール当日の21日は、早朝9時から部会役員・部会生産指導部員・普及センター職員・JA職員総勢25名で厳正なる審査を行いました。審査内容は、重量・糖度・着色・病虫害軽欠点・玉揃いの5項目で1次審査を行い、一次審査を通過した約20点の中から、普及センター職員・JA職員の4名（オブザーバー・畔上慶一部会長）で最優秀賞を筆頭とした褒章16点を選出しました。

りんご栽培のなかで最も技術が要するサンふじの芸術性を競うコンクールとあって、どの出品物も色づき・糖度・1玉毎の揃い等最高レベルの品質。審査員は褒章を決定するにひと苦労しました。（これは贅沢な悩みではありませんが…）

最優秀賞は、高社りんご・もも部会深沢支部の田中妙子（純夫）さんの頭上に輝きました。昨年の池田春美さん（高社岩井支部）に続き、高社勢が2連覇を達成しました。

今回のコンクール審査を担当した関係者の皆様  
に感想お聞きしました。

審査委員長岩崎和之さん（北信農業改良普及センター）「本年は、りんご全体に着色が早く、しかも濃厚な色づきに仕上がっているため、どの出品物も完成度が高い。どれも甲乙つけがたく、褒章を決定するに大変苦労した。」

部会長畔上慶一氏「着色を担当したが、どの作品もレベルが高く、全体としてみれば、昨年より配点が高くなったのではないか。まさに特秀の上をいく、特選品の競う品評会になった。」

指導部長高野広信氏「私自身も2点出品したが、数多くのふじの中からコンクール品を選ぶ作業は予想以上に大変で最後までどの果実を入れようか迷った。出品者の多くも同じ思いだったのではないかと。多数の出品に感謝したい。」

JA久保田課長「本年に限らないが、大変厳しい栽培環境のなか、ここまで素晴らしい仕上がりになったことに感服している。」

出品物は、翌日のふじ祭りにて販売され、同日夕方には完売しました。常連客は販売開始前から列を作り、次々に購入していききました。（売上金額は合計27万円）最後に部会員の皆様におかれては、公私とも大変お忙しいなか出品にご協力頂きまして誠にありがとうございました。

（記事…園芸技術課 佐藤正隆）



本年の出品数は84点！どれも芸術品！

↑  
真剣な表情で出品物を確認する畔上部会長（写真奥）



最優秀賞に深沢支部の田中妙子（純夫）様



← 審査中の写真

審査項目は、重量・糖度・着色・病虫害軽欠点・玉揃い・総合の6点。  
早朝から部会役員・JA・普及センターで厳正なる審査が行われた。

～お知らせ～

『りんご優良品種2年生苗木配布』

- 日時：12月3日（水）午後1～3時  
お忙しい時期ですが、時間内にお越しください。
- 配布場所：JAりんご苗木養成ほ場（越）
- 配布品種名  
らくらくふじ・長ふー12・百年ふじ